

## 第5節

### 「魅力ある都市空間の形成と産業の振興」

快適でゆとりある都市を実現するために、秩序ある土地利用を誘導し、都市活動と経済活動が調和する都市機能の強化や拠点の育成、整備に努め、魅力ある都市空間を形成します。

また、広域的な交流を促進し、次代を担う先導的な産業の育成や、新たな都市型産業の展開により就業の場としての魅力を高め、活力とにぎわいのある産業の振興を図ります。

～松戸市基本構想 施策の大綱～

# 政策 17

## ～地域産業を振興し、 豊かな経済活動ができるようにします～

### 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

#### 【めざしたい将来像】

今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	—	—	39.0%	—	40%	50%
	42.9%	37.7%	37.8%	38.1%		

#### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

起点値から考えて、市民の2人に1人が感じられるようにすることをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
商業の年間商品販売額	—	—	80,000,000 万円	—	77,668,000 万円	80,000,000 万円
	80,376,473 万円	76,488,304 万円	76,668,908 万円 (H19.6確定値)	未調査 (H25調査予定)		

#### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

松戸市は、平成13年の千葉県の商圏の位置づけでは準商業中心都市であったが、平成18年では単独商圏都市となった。将来めざす方向として、準商業中心都市に戻すため、32年度には、平成13年当時の年間販売額をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
製造品出荷額	—	47,000,000 万円	43,000,000 万円	—	43,000,000 万円	43,000,000 万円
	46,795,923万円 (H12.12)	42,773,374万円 (H18.12)	43,491,090 万円	40,286,284 万円		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

経済の回復予想がつかない中で、現状値の10%減を維持することをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
農用地利用権設定面積	—	—	—	—	1.8ha	1.8ha
	—	1.54ha	3.55ha	1.92ha		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

農地利用集積円滑化事業による遊休農地と荒廃農地解消事業を推進し、平成17年から平成21年の農地利用権設定面積の平均値を超える設定面積をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	—	—	—	—	25%	30%
	—	—	19.0%	19.6%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

現状値から年1ポイント程度の増加を期待した値をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
主要観光スポットの観光客数	—	—	—	—	2,700千人	2,800千人
	3,175千人	2,627千人	2,232千人	1,991千人 (H23.12)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

21年度に対し約10%増をめざす。

# 政策17

## 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします

### 1. 商工業を盛んにします

#### 1. 現況と課題

本市は、23ある駅周辺に商店会が点在し、住民生活は大変便利な環境にあります。しかし、少子高齢化等による社会環境の変化により消費は減少し、本市小売業における年間販売額では平成16年は3,857億円、平成19年では3,841億円と、16億円の減少となっています。

また、本市周辺を取り囲むように大規模商業施設の出店が相次ぎ、周辺都市との地域間競争は激しくなっており、商店会は、厳しい状況にあります。松戸駅周辺の中心市街地では、商業地域から住居併用型の商業地域に変化し地域全体での新たな転換を迫られています。

また、本市の工業は3つの工業団地を中心に工業生産を維持しており、製造品出荷額は平成19年度においては4,811億円、平成22年度においては4,029億円で782億円の減少となっており、平成20年度以降、世界的な経済危機の影響を受け製造品出荷額の減少が見込まれています。しかしながら、工業団地は、東京都心から20km圏、大消費地の東京都に隣接し、道路アクセスも良く、恵まれた立地環境であり工業団地としての条件が整っており、工場が撤退しても、物流拠点として活用され、空地が殆どありません。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

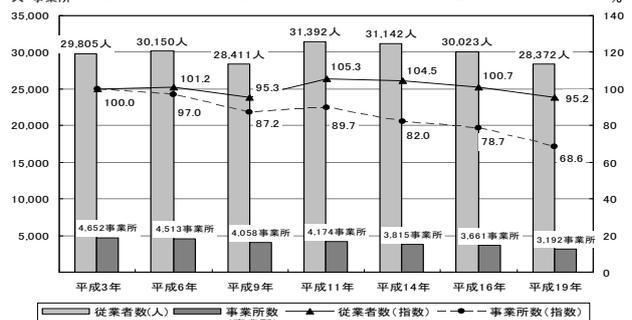
- ① 小売店での買い物より、便利で品数が多く価格も安い大型店での買い物を好む消費者が増えています（ニーズの増）
- ② 三工業団地の維持、雇用や税収確保のための工業活性化が望まれています（ニーズの増）

#### ●市内の工業における製造品出荷額

産業中分類	(金額単位:万円)	
	事業所数 総数	製造品出荷額等 総額
松戸市	364	40,286,284
9 食料品	30	6,228,887
10 飲料・たばこ・飼料	3	11,295,846
11 繊維	16	232,775
13 家具・装備品	11	154,338
14 パルプ・紙・紙加工品	19	3,808,650
15 印刷業	25	1,010,372
16 化学工業	9	861,595
18 プラスチック	29	2,830,710
19 ゴム	9	225,331
20 なめし革・毛皮	15	166,059
21 窯業・土石	10	486,561
22 鉄鋼	7	141,954
23 非鉄金属	3	X
24 金属製品	68	4,896,622
25 はん用機械	9	263,099
26 生産用機械	39	1,040,873
27 業務用機械	12	340,340
28 電子デバイス	11	3,989,111
29 電気機械	9	137,513
30 情報通信機械	2	X
31 輸送用機械	7	123,314
32 その他	21	287,473

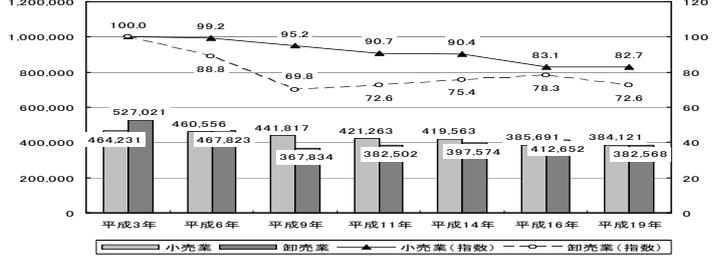
出典 平成22年工業統計表「市区町村編」データ(経済産業省)  
平成24年4月13日公表

#### ●卸売業・小売業の事業所数・従業者数



[注] 指数は平成3年の数値(従業者数29,805人、事業所数4,652事業所)を100として換算した数値です。

#### ●卸売業・小売業の年間販売額



[注] 指数は平成3年の数値(小売業464,231百万円、卸売業527,021百万円)を100として換算した数値です。

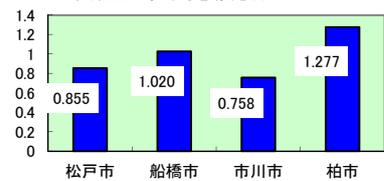
出典 上の2資料は、いずれも「松戸市商業・商圏調査報告書」

#### ●市内商店街数、事業所数、従業者数、売場面積、年間販売額の推移

	商店街合計			年平均 増減率(%)	年平均 増減率(%)
	H14	H16	H19		
商店街数 (街)	98	96	93	△ 1.0 %	△ 1.1 %
事業所数 (事業所)	1,711	1,574	1,157	△ 4.1 %	△ 9.8 %
従業者数 (人)	9,057	8,559	6,413	△ 2.8 %	△ 9.2 %
売場面積 (㎡)	119,148	119,771	91,636	0.3 %	△ 8.5 %
年間販売額 (万円)	10,853,268	9,824,439	7,247,126	△ 4.9 %	△ 9.6 %

出典 「松戸市商業・商圏調査報告書」

#### ●平成19年小売吸引力



小売吸引力の算出方法  
(小売吸引力) = 市町村ごとの1人当たり年間販売額 / 都道府県の1人当たり年間販売額  
\* 1.00を超えると他市町村からの買い物客が多く(流入超過)、下回ると流出超過を示す

出典 「松戸市商業・商圏調査報告書」

## 2. 施策の展開方向

商店会への支援策として、意欲的な商店会が行う販売促進活動（イベント開催等）、街路灯やアーチなど商店街の賑わいを創出する共同施設整備、商店街の空き店舗対策などに対する支援を行います。また、環境変化やニーズの変化に的確に対応するため、商店会の活性化に向けた指導育成や法人化の支援に努めます。

松戸駅周辺においては、松戸駅の改造などもあることから、地元住民との協働によりまちづくりの方向性を明確にし、計画を策定するとともに、本市の中心市街地にふさわしい商業環境の整備に努め、駅周辺でのイベントや販売促進活動を推進し、商業基盤の強化を図ります。

工業においては、経済情勢や企業をとりまく環境の変化に対応し、企業活動の活性化や、バランスある産業構造の確保に努めます。また、付加価値の高い製品の製造業の誘致などを図り、工業団地の政策的使命を果たすと同時に、今後の土地利用の状況を見極め、有効活用を推進します。

卸売市場は、規制緩和等による流通構造の大きな変化に伴い全国的に取扱量が減少していることから、活性化が図れるよう公設市場の民営化の検討を進めます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

商店会の支援策としては、空き店舗対策など商店会が行う事業を支援し、活性化を図ります。松戸駅周辺においては、松戸駅周辺の商業（中心市街地）の活性化を図ります。

工業においては、これから起業する方への創業支援や事業者に対して、経営相談を充実します。また、付加価値の高い製造業など、雇用や税収につながる企業の誘致を図ります。

さらに、市内の商工業の事業者ニーズを把握し、中小企業や商店街が活性化するための検討を行います。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

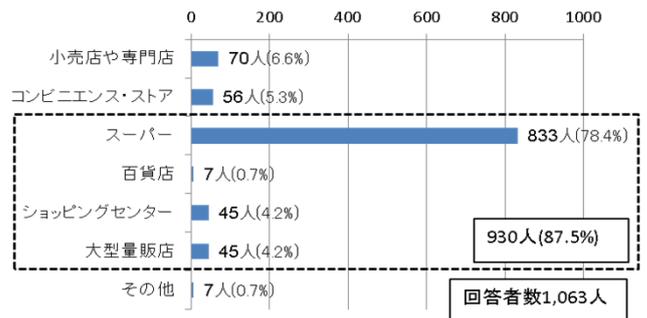
- ① 経済エリアとなりうる地域のコミュニティとしての商店会が各地に多く点在しています（強み）
- ② 工業団地の利用が製造業から流通業にシフトし、工業団地としての機能が薄れてきています（弱み）

#### ●商店街の分布図



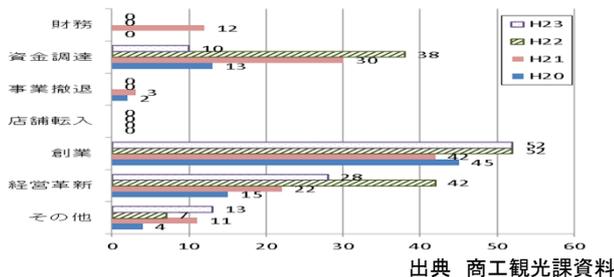
出典 「松戸市商業・商圏調査報告書」

#### ●住まい周辺における日用品の買い物で頻りに利用する店舗



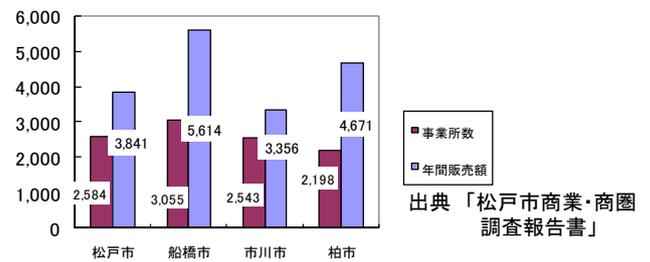
出典 「松戸市商業・商圏調査報告書」

#### ●松戸市経営相談の内容と件数の推移



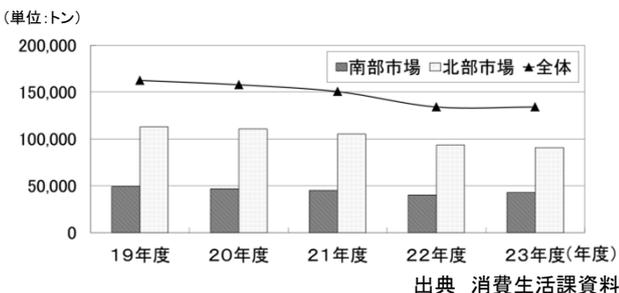
出典 商工観光課資料

#### ●平成19年小売業の事業所数、年間販売額、商店街数の他市比較 (億円)



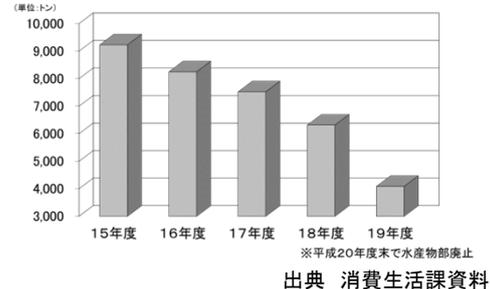
出典 「松戸市商業・商圏調査報告書」

#### ●松戸市公設市場の年度別青果部取扱量



出典 消費生活課資料

#### ●松戸市公設南部市場の年度別水産物部取扱量



出典 消費生活課資料

# 政策17

## 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします

### 2. 農林水産業を続けられるようにします

#### 1. 現況と課題

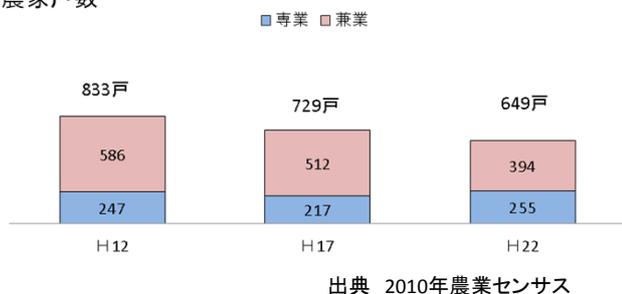
本市の農業は、ねぎ、かぶ、大根、枝豆などが多く栽培され、県内はもとより全国でも有数の産地となっています。さらに、「二十世紀梨」の原産地として梨の栽培が盛んで、現在は幸水、豊水などが有名で、秋の収穫時季にはもぎとり・直売でにぎわっています。地域でとれる食材の魅力や食の成り立ちを学ぶためにも、松戸産の地場農産物の周知と消費拡大が求められています。

しかし、農業従事者の高齢化、収入の不安定などにより後継者が不足し農地減少、遊休農地の増加が報告されています。また、環境にやさしい農業を推進していますが、市街化区域内の農地では住宅が隣接しているため、営農環境が年々悪化しています。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 高齢化が進み、後継者不足から農業の継続が困難になってきた農家が増えています（ニーズの増）
- ② 政策的に農業の生産性を高め、農業の魅力を高めることが必要になってきています（ニーズの増）

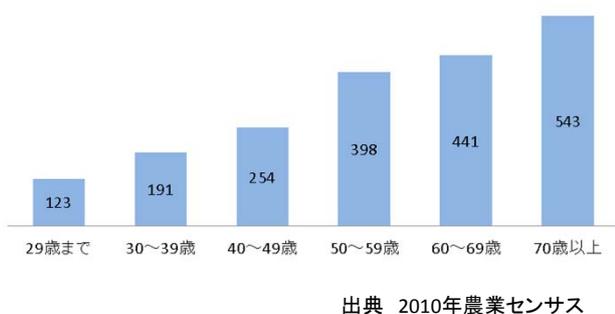
#### ●農家戸数



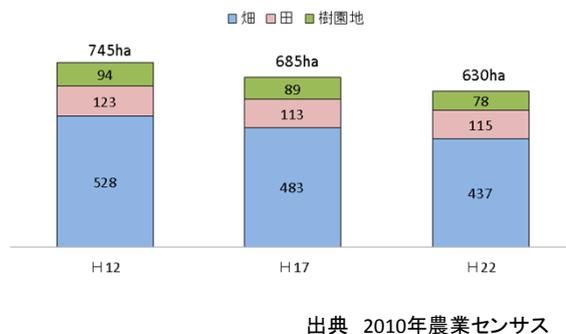
#### ●農業従事者数



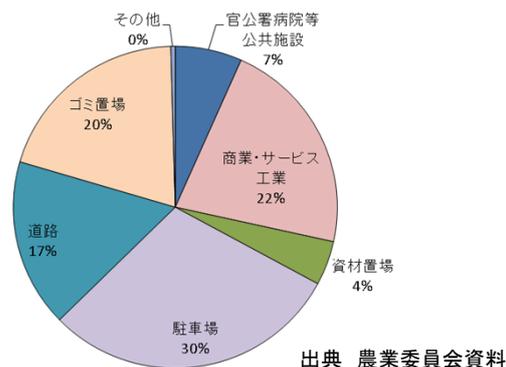
#### ●平成22年度年齢層別基幹的農業従事者数



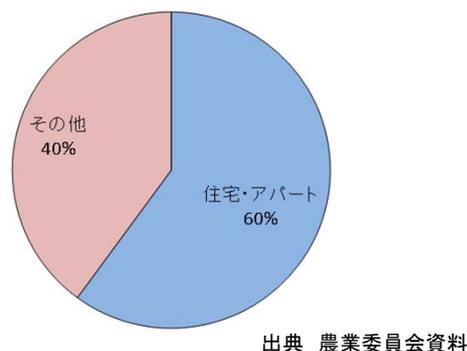
#### ●経営耕地面積



#### ●平成22年度市内の農地転用状況(用途)



#### ●平成22年度市内の農地転用状況(面積)



## 2. 施策の展開方向

平成23年度の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」の改正において、農業の法人化を促進し、生産、加工、販売の一体化の推進、新たな松戸ブランド農産物の商品化、意欲ある多様な農業者への農地集積、農産物直売所の設置などを検討していきます。また、観光農業・体験農園・産地直売農園の推進、認定農業者制度の普及・促進をさらに進めます。

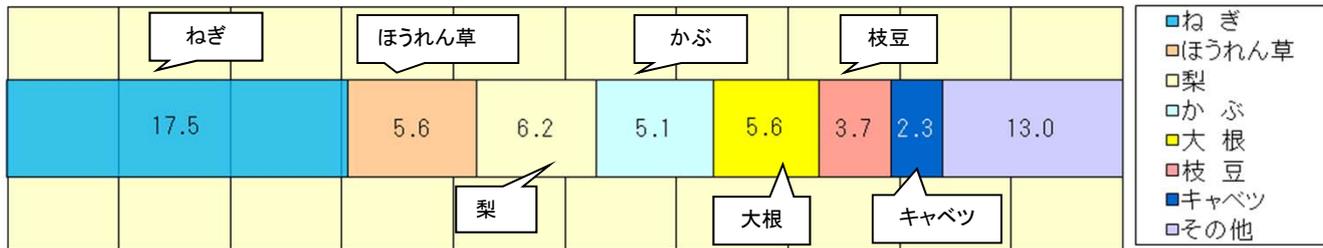
## 3. 施策を推進していく上での課題

農業者・耕地面積が減少するなか、規模拡大を図り加工・販売を目指す農家を育成し、新たな松戸ブランド農産物を農家と構築していく必要がある。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① かぶ、ねぎ、枝豆など全国有数の出荷額を誇る産品を生産しています（強み）
- ② 大規模農地が少ないので、農業従事者一人当たりの農業所得が少ない状況にあります（弱み）

### ●平成18年産(56億3千万円)の品目別産出額内訳



(単位: 億円)

### ●平成18年 松戸市主要農産物の産出額と全国及び県内順位

品目	農業産出額 (千万円)	全国順位	県内順位
ねぎ	175	8位	2位
ほうれん草	56	26位	6位
梨	62	32位	6位
かぶ	51	4位	3位
大根	56	19位	3位
枝豆	37	11位	2位
キャベツ	23	45位	5位
その他	103		
計	563	***	***

出典 千葉県生産農業所得統計  
千葉県青果物生産出荷統計

### ●市内農家、農業従事者の生産農業所得推移と県内順位

(年)	農家1戸当たりの農業所得 (千円)	県内順位	耕地10a当たりの農業所得 (千円)	県内順位	農業者1人当たりの生産農業所得 (千円)	県内順位
H14	3,610	11	394	3	1,848	25
H15	3,384	10	369	3	1,733	46
H16	3,741	9	480	2	1,916	19
H17	3,567	9	399	3	1,869	21
H18	2,836	9	324	3	1,498	21

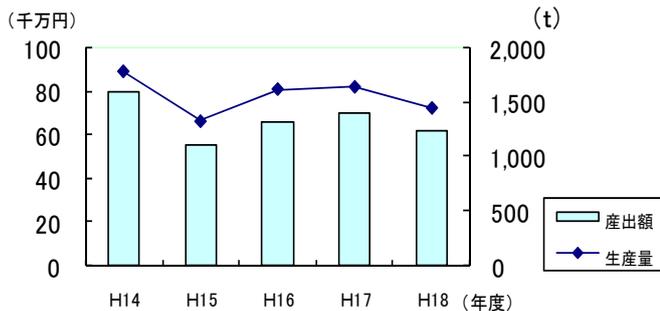
(県内自治体数はH16までは78、H17は71) 出典 千葉県生産農業所得統計

松戸市では、市内で生産された農産物の販路拡大及び安定供給を図り、効率的で安定的な農業経営基盤を強化するため、松戸産農産物のブランド化を推進しています。みのりちゃんマークが表示されている野菜、果物は、松戸産です。



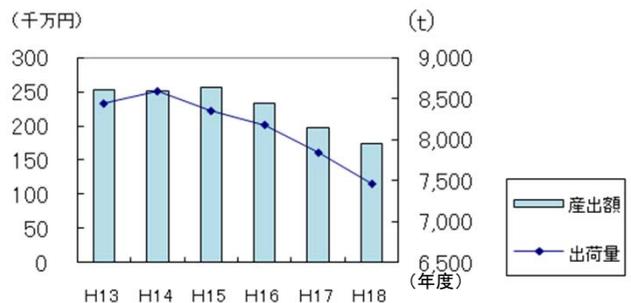
松戸産農産物ブランド化ロゴマーク  
みのりちゃん

### ●梨の産出額・生産量の推移



出典 千葉県生産農業所得統計  
千葉県青果物生産出荷統計

### ●ねぎの産出額・生産量の推移



出典 千葉県生産農業所得統計  
千葉県青果物生産出荷統計

# 政策17

## 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします

### 3. 市内観光を楽しめるようにします

#### 1. 現況と課題

本市では、春を告げるさくらまつりが市内4ヵ所で開催され、その後年間を通して花火大会、松戸まつりの他、各地域での様々なイベントが行われます。

松戸地区には、国指定重要文化財に指定された「戸定邸」があり、矢切地区には、江戸時代から続いている渡し舟「矢切の渡し」が、今でも残っています。また、近くには伊藤左千夫の純愛小説「野菊の墓」文学碑がある西蓮寺と眺望のよい野菊苑があります。

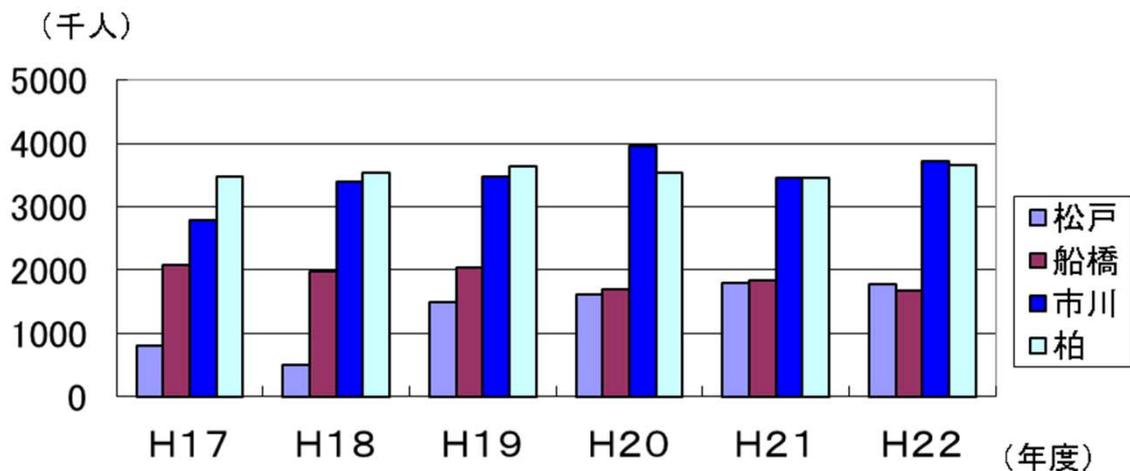
小金地区には、「本土寺」「東漸寺」など歴史・文化資源が多く存在しており、今後も、今の形を残し、広く伝えていきます。

また、主要観光スポットの観光入込数は、平成17年に301万人だったものが、22年には308万人へと増加しています。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 多くの人々が、花火大会、松戸まつり、さくら祭りなどの定例イベントを楽しみにしています (ニーズの増)
- ② いろいろなまちを訪ね、日帰りでのウォーキングなどを楽しむ人が首都圏の中で増えています (ニーズの増)

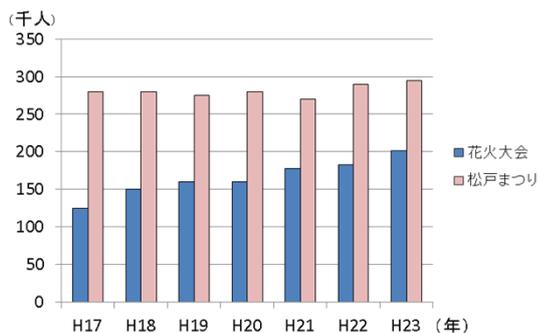
#### ●観光入込数の推移他市比較



出典 千葉県観光入込調査

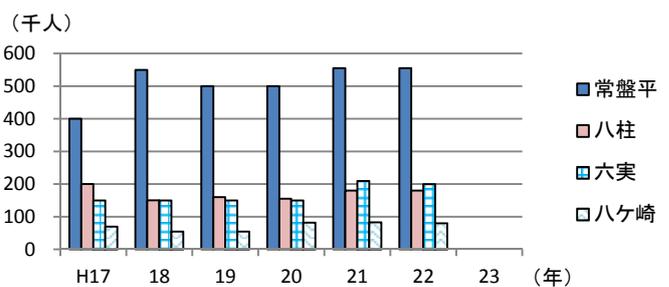
\* 松戸市は、平成17～18年度はバンダイミュージアム、矢切の渡し、本土寺、江戸川ゴルフ(花火大会、さくら祭り、松戸まつり含まず)が対象。ただし、バンダイミュージアムは平成18年8月31日で閉館。  
また、平成19年以降は千葉県指定の施設のみ対象。

#### ●花火大会と松戸まつりの集客数の推移



出典 商工観光課資料

#### ●さくら祭りの集客数の推移



平成23年は中止。

出典 商工観光課資料

## 2. 施策の展開方向

各地域で、さまざまに開催されるイベントを支援し、地域の活性化を図るとともに、地域のまちづくりのためのボランティア活動を促進していきます。また、ガイドマップ、地区別マップ、観光協会ホームページを活用し、多様化する観光ニーズに合わせた情報提供の充実を図ります。

観光を目的とする市民ボランティアへの支援体制を向上させ、市民ボランティアの協力を得て、観光地の環境美化や案内の充実などに努めます。

また、「矢切の渡し」のある矢切地区や「本土寺」「東漸寺」がある小金地区などを観光地として、周辺の観光資源の発掘を行い、日帰りで楽しめるような観光ルート の環境整備を進めます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

市内の観光地の案内や新たな松戸の観光資源を開発していくため、いかに行政と各種団体、ボランティアや市民等とともに協力していくかが課題となっています

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 東京に隣接した立地にありながら、自然・文化・歴史を感じるスポットが多く残されています（強み）
- ② 観光スポットとなり得る場所が、市内に点在しているが、それも結ぶルートが整備されていません（弱み）
- ③ 市民自身が松戸の魅力に気づいていないため、市民におもてなしの心が根づいていない（弱み）

#### ●矢切の渡しバス延伸開始(H24.4～)

矢切の渡しラッピングバス

平成24年4月28日（土）より「矢切の渡し入り口」の路線バスが土日休日の一部時間帯で延伸されました。

延伸を記念して、矢切の渡しと松戸の風景が描かれたフルラッピングバスが運行しています。出典 商工観光課資料



#### ●昭和の杜(H22.11～)



昭和の杜（私設資料館）

昔懐かしい雰囲気が漂う施設で、昭和の古い乗り物・民具・農具・雑貨等を見学することができます。

オート三輪や映画にも出演した車が展示してある「クラシックカー館」やブリキのおもちゃやフィギアが展示してある「おもちゃ館」等見どころ満載。出典 商工観光課資料

#### ●野菊の墓記念碑と伊藤左千夫氏



#### ●元禄まつど村



元禄まつど村（私設資料館）

かぼちゃに描いたユニークな似顔絵作品やひょうたんを使った作品等が多く展示されています。千駄堀資料館では、江戸時代から昭和30年代までの生活道具や農具など約3,000点があります。

出典 商工観光課資料

#### ●松戸市内に点在する観光スポットマップ



出典 商工観光課資料

#### ●松戸市観光梨園



松戸市は二十世紀梨の発祥地です。市内には、58箇所の梨園があり、もぎとり、直売を行っています。年間約4万人もの観光客が訪れる観光スポットです。

出典 松戸市観光協会資料

#### ●松戸シティガイドの活動実績

松戸シティガイドは、自主的な市民活動団体で、松戸市と近隣の史跡や自然についてガイドすることにより、我が街のイメージアップを図ることを目的に活動しています。

##### ボランティアガイド活動

##### ○定期的なボランティアガイド活動

戸定邸定期ガイド(休館日以外の午前10時半から午後3時半まで)、但し冬季夏季は土日・祭日・10日に実施  
千葉大学園芸学部庭園ガイド(春、秋、依頼時)

##### ○不定期にガイドツアーを実施

松戸地区、矢切地区、小金地区にて、主催ガイドツアーを実施

##### ○依頼があり次第、随時ガイドを実施